

## 焼却灰等の放射能濃度測定結果

表1 主灰の放射能濃度測定結果

測定機関  
測定方法中外テクノス 株式会社  
緊急時における食品の放射能測定マニュアル  
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料 採取日	主灰又は流動床不燃物			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	(9月下旬 採取予定)				
港清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
北清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
品川清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
目黒清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
大田清掃工場	(9月下旬 採取予定)				
多摩川清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
世田谷清掃工場 ※4	-	-	-	-	-
千歳清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
渋谷清掃工場 ※2	(9月上旬 採取)				(分析中)
杉並清掃工場	(9月下旬 採取予定)				
豊島清掃工場 ※2	(9月上旬 採取)				(分析中)
板橋清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
光が丘清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
墨田清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
新江東清掃工場	(9月下旬 採取予定)				
有明清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
足立清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
葛飾清掃工場	(9月上旬 採取)				(分析中)
江戸川清掃工場	(9月下旬 採取予定)				
中防灰溶融施設 ※3					
破碎ごみ処理施設 ※2	8月30日	不検出	10	17	27

※1 使用測定器：仏キャンベラ社製 ゲルマニウム半導体検出器 7500SL

※2 流動床式焼却炉であり、主灰が発生しない施設であるため、測定結果には流動床不燃物の測定値を記載しています。

※3 主灰が発生しない溶融炉の施設であるため、測定していません。

※4 「-」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※5 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

(平成23年9月20日 HP掲載)

表2 飛灰の放射能濃度測定結果

測定機関  
測定方法中外テクノス 株式会社  
緊急時における食品の放射能測定マニュアル  
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料 採取日	飛灰			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	9月2日	不検出	954	1,070	2,024
港清掃工場	8月30日	不検出	918	1,090	2,008
北清掃工場	9月1日	不検出	1,030	1,150	2,180
品川清掃工場	9月2日	不検出	564	654	1,218
目黒清掃工場	8月30日	不検出	1,460	1,740	3,200
大田清掃工場 ※2	-	-	-	-	-
多摩川清掃工場	8月30日	不検出	857	1,010	1,867
世田谷清掃工場 ※2	-	-	-	-	-
千歳清掃工場	8月31日	不検出	823	929	1,752
渋谷清掃工場	8月31日	不検出	258	313	571
杉並清掃工場	8月31日	不検出	1,320	1,550	2,870
豊島清掃工場	9月1日	21	474	548	1,022
板橋清掃工場	9月1日	不検出	924	1,060	1,984
光が丘清掃工場	9月1日	107	962	1,130	2,092
墨田清掃工場	8月29日	不検出	858	983	1,841
新江東清掃工場	8月30日	不検出	1,130	1,330	2,460
有明清掃工場	9月2日	不検出	1,180	1,370	2,550
足立清掃工場	8月29日	30	1,290	1,530	2,820
葛飾清掃工場	8月29日	不検出	1,170	1,340	2,510
江戸川清掃工場	9月2日	不検出	3,460	3,950	7,410
中防灰溶融施設 ※2	-	-	-	-	-
破碎ごみ処理施設	8月30日	不検出	659	790	1,449

※1 使用測定器：仏キャンベラ社製 ゲルマニウム半導体検出器 7500SL

※2 「-」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※3 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

※4 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。その後、7月2日付けの環境省からの追加説明により、飛灰についての基準は、今後は実際に埋め立てられる飛灰処理汚泥(飛灰を薬剤処理したもの)に対して適用されることとなりました。また、飛灰については、参考のため測定を行います。

(平成23年9月20日 HP掲載)

表3 飛灰処理汚泥の放射能濃度測定結果

測定機関  
測定方法中外テクノス 株式会社  
緊急時における食品の放射能測定マニュアル  
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料採取日	飛灰処理汚泥			
		放射性ヨウ素131	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
中央清掃工場	9月2日	11	493	568	1,061
港清掃工場	8月30日	不検出	816	949	1,765
北清掃工場 ※3					
品川清掃工場	9月2日	不検出	390	445	835
目黒清掃工場 ※3					
大田清掃工場 ※2	-	-	-	-	-
多摩川清掃工場	8月30日	不検出	560	646	1,206
世田谷清掃工場 ※2	-	-	-	-	-
千歳清掃工場 ※3					
渋谷清掃工場 ※3					
杉並清掃工場	8月31日	不検出	1,110	1,310	2,420
豊島清掃工場	9月1日	9	339	392	731
板橋清掃工場	9月1日	不検出	607	686	1,293
光が丘清掃工場	9月1日	不検出	917	1,070	1,987
墨田清掃工場	8月29日	不検出	748	875	1,623
新江東清掃工場	8月30日	不検出	882	1,040	1,922
有明清掃工場	9月2日	不検出	750	875	1,625
足立清掃工場	8月29日	14	941	1,070	2,011
葛飾清掃工場	8月29日	不検出	1,470	1,690	3,160
江戸川清掃工場	9月2日	不検出	2,730	3,200	5,930
中防灰溶融施設	8月30日	17	363	427	790
破砕ごみ処理施設	8月30日	不検出	494	571	1,065

※1 使用測定器：仏キャンペラ社製 ゲルマニウム半導体検出器 7500SL

※2 「-」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※3 他工場で飛灰の処理を行っているため測定していません。

※4 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

※5 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。その後、7月2日付けの環境省からの追加説明により、飛灰についての基準は、今後は実際に埋め立てられる飛灰処理汚泥(飛灰を薬剤処理したもの)に対して適用されることとなりました。また、飛灰については、参考のため測定を行います。